

# 平川恒太

Kota Hirakawa

## 略歴

1987年 高知県生まれ

2013 東京芸術大学 絵画専攻 修士課程修了

コンセプチャルな絵画を中心に、戦争と平和、人と自然など対極にあるイメージの作品シリーズを制作し、物事の両面を描くことで真理を追究する。大きなテーマに『記憶のケイショウ』があり、作品による記憶の継承、警鐘、形象を試みる。近年では対極にあるイメージを緩やかに繋ぐことで世界の移ろいやすさや儚さを表現しようとしている。

## 個展

2022 「ARTIST FOCUS #02 平川恒太Cemetery 祈りのケイショウ」高知県立美術館、高知

2021 「Talk to the silence」カスヤの森現代美術館、横須賀

2018 「悪のポルテージが上昇するか21世紀」福沢一郎記念館、世田谷

2014 Trinitite-レキシノダンソウ、カイガンダンソウ, 丸ビル 7F、東京

2011 「ANA MEETS ART」 羽田空港ラウンジ、東京

2010 「The Neverending Story -Hirakawa Kota Solo Exhibition」原爆の図 丸木美術館、埼玉

## グループ展

2024 「Fukuzawa Re:birth 福沢一郎×平川恒太・ユアサエボシ・江上越」

富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館

2022 「Constellations: Global Reflections」Kura Kura Bali、バリ島

「光と陰のアンソロジー この世界にただ独り立つ 平川恒太、山本草介、外山恒一」つなぎ美術館、熊本

「柳澤紀子、平川恒太 -Endless Dialogu」ギャラリーアトス、沖縄

2020 「さいたま国際芸術祭2020」メインサイト (旧大宮区役所)、埼玉

「神宮の杜芸術祝祭-紫幹翠葉」明治神宮ミュージアム、東京

2019 都美セレクション「星座を想像するように-過去、現在、未来」東京都美術館、上野

「カラストロフと美術のちから」六本木ヒルズ・森美術館、東京

「1940's フジタ・トリビュート」東京芸術大学陳列館、東京

2016 Identity XII – Memorandum on Sublime ,nca,東京

「劫後風景」galerie nichido Taipei,台湾

2015 「はじまりは久米桂一郎から -メディカル アート& イラストレーションの歴史と現在」

東京藝術大学美術学部絵画棟1F 大石膏室・アートスペース,東京

2014 「VOCA展2014」上野の森美術館、東京

2013 「アートがあればⅡ - 9人のコレクターによる個人コレクションの場合」

東京・オペラシティギャラリー

## 主な受賞

2015 「TERRADA ART AWARD2015」諏訪敦 賞

2013 「アートアワードトーキョー丸の内2013」三菱地所賞

「損保ジャパン美術賞展 FACE2013」審査員特別賞

2012 「ターナーゴールデンコンペティション2012」グランプリ

2011 福沢一郎賞